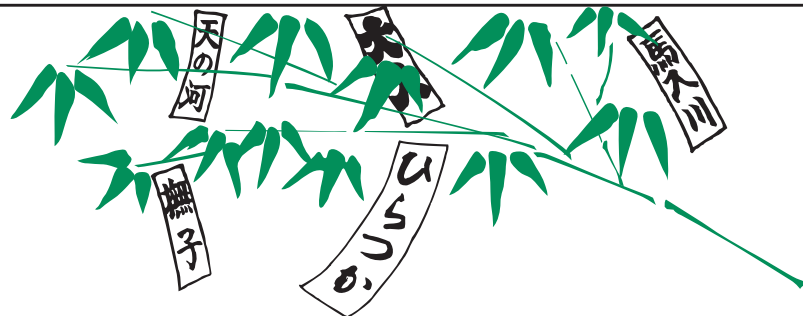




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ  
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS  
地域を育み、大陸をつなぐ



# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ● 副会長 小飯塚立雄 ● 幹事 柏手 茂 ● 会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2752回例会 2010年9月2日 グランドホテル神奈中 週報第2752号

## 本日の卓話者ご紹介

平塚市長 大蔵律子様



## 卓話

### 「市政の現状と今後の展開」

平塚市長 大蔵律子

- 皆様には、日頃から市政全般にわたり貴重なご意見、ご尽力をいただき誠にありがとうございます。
- さて、本日は貴重な機会をいただきましたので、「市政の現状と今後の展開」というテーマで、本市全体の情勢も含めたお話をさせていただきたいと思えます。
- 景気の急速な回復が望めないことなどから、本市の市税収入は21年度に続き22年度も対前年度比で減収の見込みであり、歳入の確保は大変難しいものがあります。一方で、安心・安全な市民生活を確保するため、新庁舎建設、次期環境事業センター整備、市民病院整備や小中学校体育館の耐震補強あるいは改築なども着実に進めていかなければならず、大変厳しい財政状況が続くものと考えています。  
そのようなことから、現在本市で進めている事業、今後計画している事業を滞りなく進めていくには、その前提となる「財政状況の見通し」が鍵となります。この部分について、若干お話をさせていただきます。
- まずは、平成21年度決算の状況です。リーマン

ショックによる日本経済全体への影響もあり、本市の市税収入は前年度と比べ33億円余、率にして7.2%の大幅な減収となりました。特に法人市民税の落ち込みが激しく、前年度比で25億円余、率にして46.5%の減少となっています。一方で人件費の減少は見られるものの、扶助費などの社会保障関係費の増加が続き、財源不足を補うための臨時財政対策債の発行などにより市債発行額は、前年度比で31億円余、率にして115.3%と大きく増加しました。

- このような中、平成22年度予算では、仕事の点検作業を踏まえた事業の見直し、縮小、臨時的経費の先送りなどを行い、大盆踊り大会など5事業を廃止し6,000万円程度削減しました。さらには、給与費削減のほか、予算要求のあった事業を見直し40億円を超える金額を圧縮しました。

また、平成22年度は、10年ぶりに普通交付税の交付団体となり、8億5千万円余が交付されることとなりました。

- いずれにしても、平成22年度以降の財政状況は、現在進めている3つの大型事業（次期環境事業センター整備事業、新庁舎建設事業、市民病院南棟整備事業）はもちろん、数々の増加要因があり、ますます厳しくなっていくと思われませんが、財政健全化をさらに進めることで、施策に影響のないよう努めていく考えです。
- 次は、現在市が進めている3つの大型事業（次期環境事業センター整備、新市庁舎建設、市民病院南棟整備）について、現在の進捗状況をご紹介したい。（この部分の講話の詳細は割愛）
- 次に、現在市が進めている施策の内、主にハード面の事業についていくつかご紹介したい。（「ひらつか花アグリ」のオープン、パークゴルフ場整備、駅西口東地駐輪場整備、駅西口バリアフリー整備、平塚競技場大型映像装置の設置）（この部分の講話の詳細は割愛）
- 続いて、私が2期8年を通して一貫して進めてきた地域自治の推進に関する話題についていくつかご紹介したい。（地域自治推進モデル事業、行政提案型協働事業、市民提案型協働事業）（この部分の講話の詳細は

## ＜出席報告＞

本日9月2日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 48(45)名	出席率 83.33%			
前々回8月19日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 41(38)名	出席率 70.37%	MUP 5名	計 43名	修正率 79.63%

割愛)

- 先ほど申し上げたように、歳入が減り続ける見通しの中で、必要な市民サービスを着実に提供していくことは、本市にとって今後大きな課題となります。
- 同時に、まちを創るのは、「人」。行政職員も自らの資質向上を図るとともに、常に市民の目線で、市民が今何を必要としているのかの把握に努めなければならない。そして、市民との協働により、ともに公共を担うという意識を高めることで、市民との協働社会が構築されるのだと思っています。
- 皆様には、これからも、誰もが安心して生き生きと暮らすことができるまち平塚を、ともに創り上げるパートナーとして、お力添えを賜ることをお願いして、私からの話は、終わらせていただきます。

### 卓話者プロフィール

大 蔵 律 子 (おおくら りつこ) 様

- 【生年月日】 昭和14年 4月19日
- 【出身地】 鹿児島県南さつま市加世田 (旧加世田市)
- 【学 歴】 加世田市立小湊小学校、中学校、県立加世田高等学校卒業  
昭和37年 3月 鹿児島大学文理学部理学科卒業
- 【経 歴】  
昭和37年 4月 栗田工業(株) 総合研究所に勤務  
昭和40年12月 同研究所を退職  
昭和42年 3月 平塚市民となる  
昭和62年 4月 平塚市議会議員に当選(第1期)  
平成 3年 4月 平塚市議会議員に再選(第2期)  
平成 7年 4月 平塚市議会議員に再選(第3期)  
平成11年 4月 平塚市議会議員に再選(第4期)  
平成15年 4月 平塚市長に就任 (第1期)  
平成19年 4月 平塚市長に再任 (第2期)

- 【趣 味】 水彩画を描くこと、里山の散策
- 【座右の銘】 雨だれ石をうがつ(小さな力でも根気よく長期間努力すれば、成功するということ)
- 【尊敬する人】 田中正造

### <幹事報告>

◎2009-10年度例会出席100%の方に記念品をご用意しました。

大垣・大塚・小笠原・門井・桐本・櫻井・清水雅・杉山昌・滝口・鳥山・成瀬・牧野・升水一  
会員各位 (13名)

◎第1回地区環境活動へご出席のお願い

ローターアクトと一緒に環境について考える会です。  
「水を勉強してみよう。」

日 時：9/19 (日) 13:30~16:30  
場 所：橋本公民館 (橋本サティアー6F)  
JR 橋本駅、京王橋本駅下車徒歩1分

登録料：無料

締 切：9/12 (日) まで。

◎10/17 (日) 開催、地区大会出欠のご提出は本日までとさせていただきます。

## いまさら聞けないロータリー知識 2

### <ロータリアンの行動基準>

会員の行動基準として「四つのテスト」がある。

四つのテスト “The Four-Way Test”

言行はこれに照らしてから

“Of the things we think, say or do”

真実かどうか

“Is it the TRUTH ?”

みんなに公平か

“Is it FAIR to all concerned ?”

好意と友情を深めるか

“Will it build GOODWILL and

BETTER FRIENDSHIPS ?”

みんなのためになるかどうか

“Will it be BENEFICIAL to all

concerned ?”

今から60年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアンが44項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立つのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人たちに対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリーによって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つと言ってもよいでしょう。

### <メイクアップ>

5名 鶴井・牧野・大垣・白石・水越会員

### <ゲ ス ト>

大蔵律子様 (卓話講師)

### <本日のスマイル>

15名

### <卓話・行事予定>

- 9月 9日 (木) 入会記念卓話 嶋津良治会員
- 16日 (木) 地区会員増強・維持委員会副委員長 秋森三男様 (相模原西RC)
- 地区家族委員会委員長 河合賢治様 (鎌倉大船RC)
- 23日 (木) 休会 (定款による)
- 10月 7日 (木) 元短期大学教授・作家 櫻井誠子様
- 14日 (木) →10/17 (日) 地区大会へ振替

### <市内例会変更>

平塚湘南 9/12 移動 (土屋橋周辺の清掃)